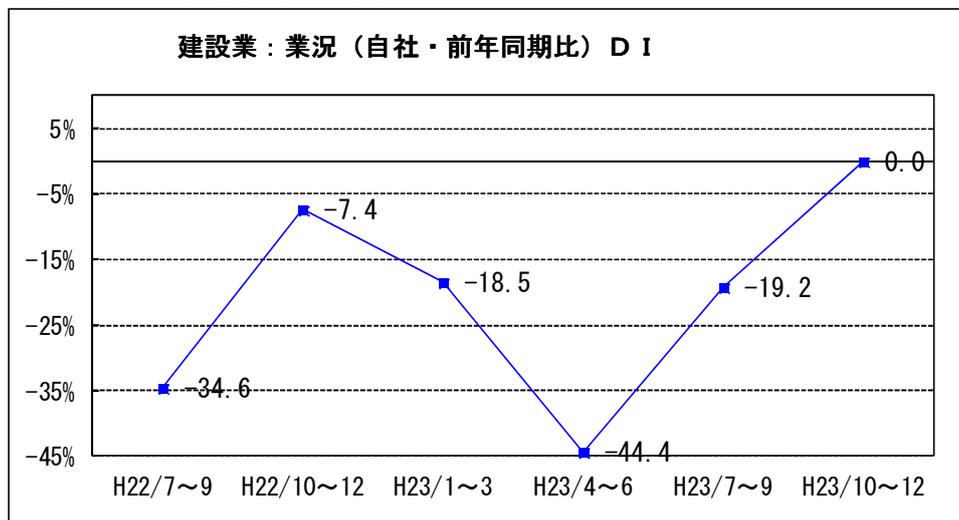


### 3. 建設業の動向

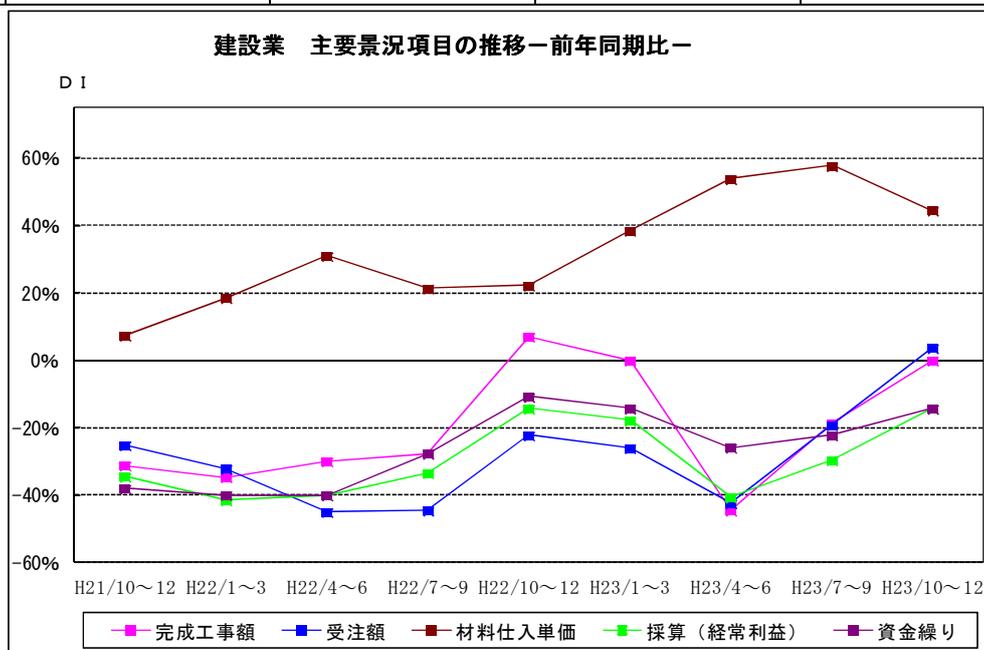
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、0.0。前期のマイナス18.6から18.6ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、14.2と回復の見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

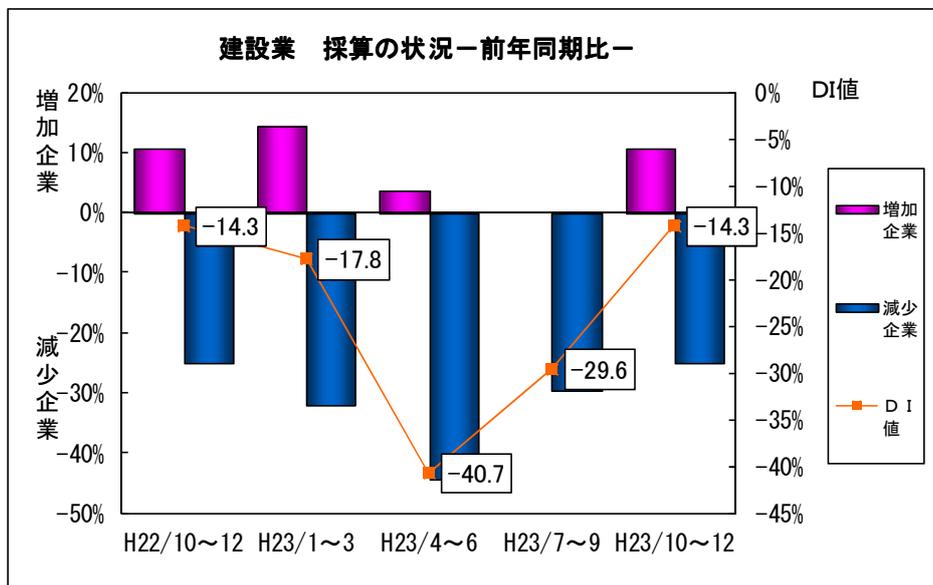
	前々期 (23年4月~6月)	前期(A) (23年7月~9月)	今期(B) (23年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲44.5	▲18.6	0.0	▲18.6	14.2
受注額	▲42.4	▲19.2	3.7	▲15.5	3.7
材料仕入単価	53.8	57.7	44.5	▲13.0	37.0
採算(経常利益)	▲40.7	▲29.6	▲14.3	15.3	▲10.8
資金繰り	▲25.9	▲22.2	▲14.3	7.9	▲3.6



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

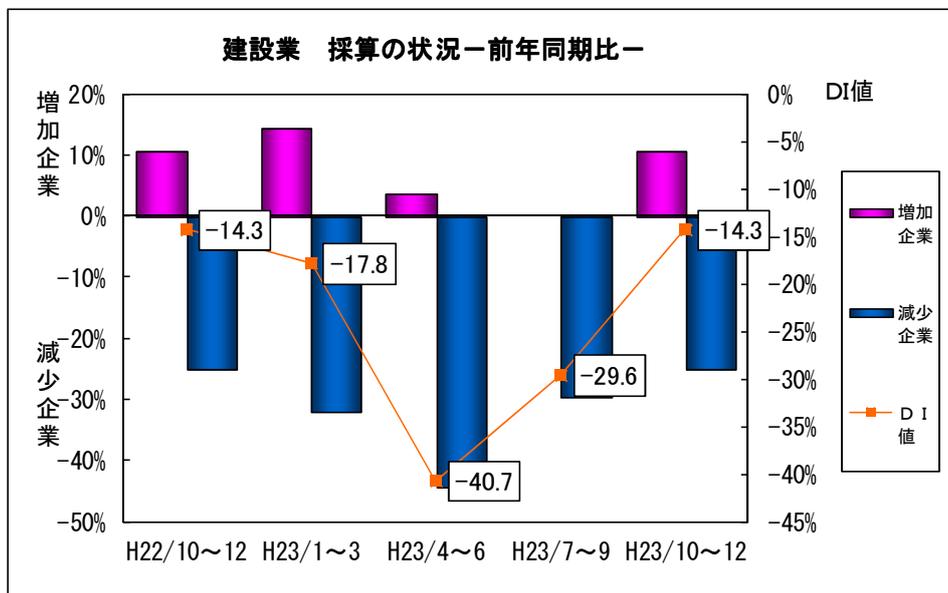
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I 値は、0.0。前期のマイナス 18.6 から 18.6 ポイント上昇し、回復した。来期は 14.7 とさらに回復の見込み。



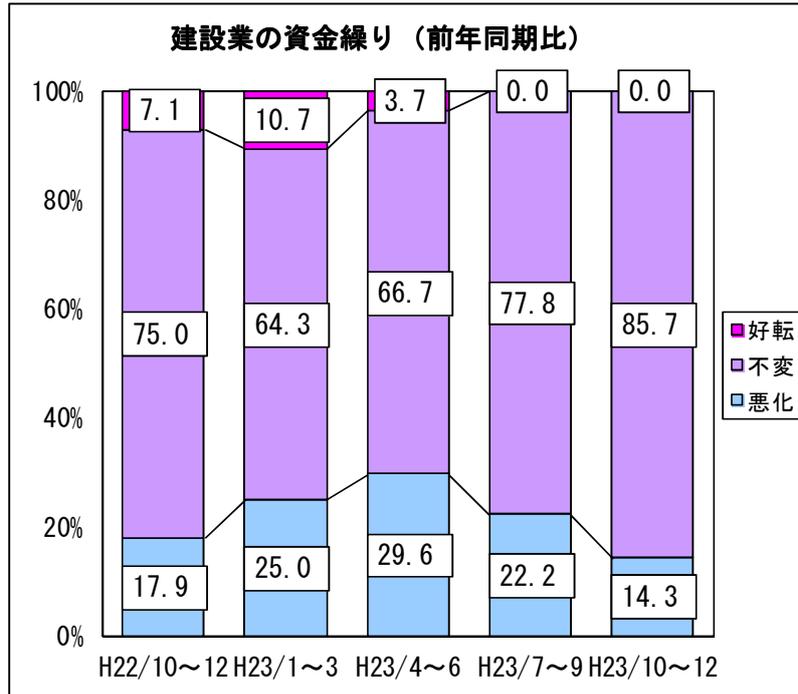
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、マイナス 14.3。前期のマイナス 29.6 から 15.3 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 10.8 とさらに回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 14.3。前期のマイナス 22.2 から 7.9 ポイント上昇し、回復した。来期見通しは、マイナス 3.6 とさらに回復の見込み。

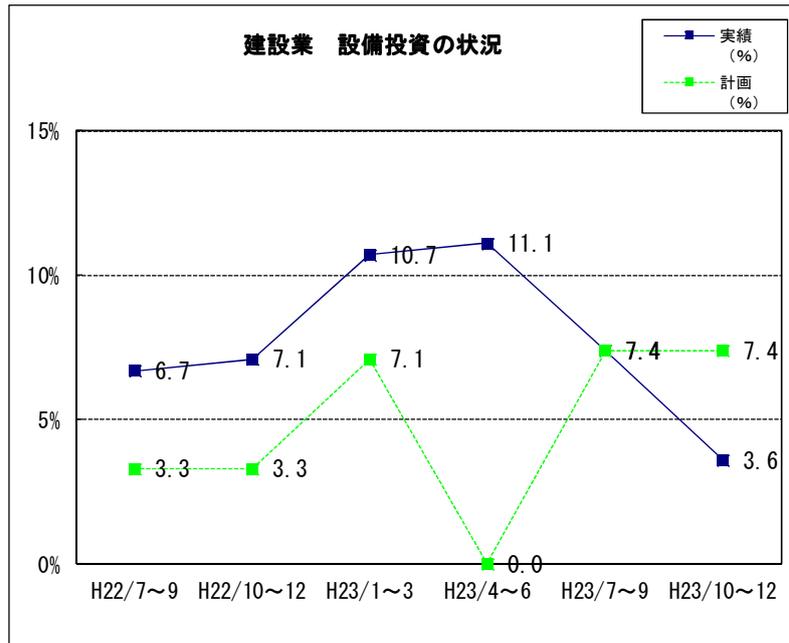


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施（実数） （%）	<b>2</b> 7.4	<b>0</b> 0.0	<b>1</b> 50.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>1</b> 50.0	<b>1</b> 50.0	<b>0</b> 0.0	<b>25</b> 92.6
今期実施（実数） （%）	<b>1</b> 3.6	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>1</b> 100.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>27</b> 96.4
来期計画（実数） （%）	<b>2</b> 7.1	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>2</b> 100.0	<b>0</b> 0.0	<b>2</b> 100.0	<b>0</b> 0.0	<b>0</b> 0.0	<b>26</b> 92.9

今期設備投資を実施した企業は1社（3.6%）。前期（平成23年7～9月期）の実施企業2社（7.4%）から下落した。来期の設備投資計画は2社（7.1%）と同数で横ばいになっている。



#### ⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 50.0%→今期 58.3%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 53.8%→今期 54.2%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 34.6%→今期 45.8%)
- ・ 「材料価格の上昇」 (前期 46.2%→今期 37.5%)

となっている。

